

あかいわ地域商社応募事業者の提案に関するアンケート結果について（未定稿）

1 アンケート対象

第 2 回経営・生産対策推進会議委員 32 人送付（代理委員含む）

2 回答者数

21 人（重複回答有り）

3 アンケート集計結果

1. 応募事業者からの提案内容が、あかいわ産の農産物の高付加価値化、ブランド化を通じて、農家所得の向上につながることを期待できるかを質問。

(1) 「AKAI IWAブランド」の生産販売

期待できる		回答数	比率	期待できない		回答数	比率
期待できる		15	65%	期待できない		8	35%
1	首都圏等の販路確保に具体性がある	5	-	1	農家の手取りが増加する仕組みではない	1	-
2	商品開発や広告界の専門家が参画している	7	-	2	農産物を集める具体的計画が分からない	5	-
3	地元事業者が中心となっているから	4	-	3	地域商社だけが儲けるように感じる	5	-
4	その他 ・JA岡山東との連携が重要。 ・47クラブに入れてもらってはどうか。 ・製造、販売、商品開発。	3	-	4	その他 ・JAが中心となってやるべきこと。 ・高品質な農産物は量の確保が難しい。	2	-

(2) 「AKAI IWA農Cafe」の運営

期待できる		回答数	比率	期待できない		回答数	比率
期待できる		18	78%	期待できない		5	22%
1	おしゃれな取組で人気を呼びそうだ	9	-	1	農家の手取りが増加する仕組みではない	1	-
2	商品開発や広告界の専門家が参画している	5	-	2	農産物を集める具体的計画が分からない	1	-
3	地元事業者が中心となっているから	5	-	3	地域商社だけが儲けるように感じる	3	-
4	その他 ・赤磐市にも集客できる施設を。 ・可能であればコーヒーのプロフェッショナルの方を探してほしい。 ・直売所が運営に携わるのが望ましい。 ・農カフェはJA可貞の跡地で。 ・市内農産物を使用するコンセプトがあるならショップは市外の方がいい。（市内では限界がある） ・非常に面白いと思う。	6	-	4	その他 ・なぜCafeなのかの市場調査等具体的説明が不十分	1	-

(3) 「ふるさと納税」返礼品受注の代行

期待できる		回答数	比率	期待できない		回答数	比率
期待できる		15	65%	期待できない		8	35%
1	赤磐市独自の返礼品のPRができる	12	-	1	農家の手取りが増加する仕組みではない	0	-
2	返礼品等のラインナップが充実する	3	-	2	農産物を集める具体的計画が分からない	5	-
3	地元事業者が中心となっているから	3	-	3	地域商社だけが儲けるように感じる	5	-
4	その他 ・生産者が直接返礼品を送る場合、クレーム対応等が可能なのか。 ・ふるさと納税返礼も管理運営してもらいたい。	2	-	4	その他 ・なくてもよい。	1	-

2. 地域商社に何を期待するか。その他自由意見の記入を依頼

(期待する意見)

- ・小さな産地だとブランド力で販路拡大は難しく、生産者の大半が高齢者では組合の足並みが揃うのも難点。その点、地域商社は生産→加工→販売まで一貫して付加価値をつけて販売できれば生産者の意識が変わるのではと期待している。
- ・地元の人を呼び込むきっかけになるし、赤磐市が盛り上がる起爆剤になると思う。
- ・赤磐のブランド品を発見、開発してほしい。
- ・新しく組織するのだから失敗を恐れず、前向きに頑張って地域のリーダーとなり、農家所得の向上させてほしい。焦らず頑張してほしい。応援する。
- ・若手農家に希望や夢が持てる仕組み作りに期待する。県、日本国内全体にアピールできるビジネスモデルになってもらいたい。

(心配する意見)

- ・ふるさと納税返礼品受注代行は、レッドコーポレーション（ふるさとチョイス）からの変更か。全体の取りまとめか。個々での実施か。
- ・赤磐市内の農家からの集荷体制についてはどのようにするのか。カフェの位置はどこなのか。
- ・販路確保、商品開発等専門家が参画しているため、多少の農産物の高付加価値化、ブランド化には寄与すると思われるが、具体的な売上、収支等の計画がなく、事業の継続性が乏しいと思われ、結果的には地域商社だけが儲けそうに感じる。資金的な説明が全くない。
- ・株式会社いぶきは瀬戸内市で野菜を生産しているので赤磐市の野菜は使わないと思う。
- ・瀬戸内（-setouchi.jp）の名前は相応しくない。赤磐市が弱くなり勘違いされる。海は日生、備前もある。
- ・高度な政策なので市内農家が歩み寄れない（相手にされない）のではと心配している。地域商社がそこをどうアプローチしていくのか、やりながら、市も間に入りながら考えていくということになるのでは。
- ・地域商社にJAの肩代わりをさせる様であり、しかもいいところ取りだけになりかねない危惧も感じる。JAの弱体化が押し進められる状況の中、地域を支え維持する一つの産業としての強い農業確立の為にも地域商社とJAの協働が必要ではないか。
- ・JA岡山東とどのように連携していくのか具体的なことがないのでは。
- ・提案を聞いてあまり期待できそうに思わなかった。この提案程度のことなら儲けを考えず市でやればよい。

(要望・提案)

- ・当初の目的の一つである「農家の手取りが増加する仕組み」づくりという点は是非外さないよう地域商社に要望したい。
- ・赤磐市内の農産物直売所も少子高齢化等の影響で、経営はどこも苦しいと思う。「農Cafe」を運営する場合は、企画の段階から既存の直売所の活用方法も考えながら企画の立案をして欲しい。
- ・地元で作って、地元事業者が売り、地元の人が使用する。
- ・市、JAと手を取り合い進めてほしい。
- ・農協に頼らない販売と計画を立て、いままでにない独自性ある物を作ってほしい。
- ・商品や「農Cafe」での飲食は、高級路線で行き、裕福な人達にお金を落としてもらう仕組みを作ることが必要ではないか。会議の中で出されていたが、農協との連携体制をお願いしたい。